

ニーズ調査の内容について

1 進捗状況

計画策定の基礎となるニーズ調査にあたっては、子ども・子育て支援におけるニーズを把握し、計画に必要な量の見込み等を的確に行うことが求められます。本市では、教育・保育関連の調査及び計画策定分野などにおいて、高いスキルを持ち、緻密な分析力及び広い視野と展望を持ってニーズ調査等を行うことができる民間事業者による業務を委託し、適切なニーズの把握を行います。

公募型プロポーザル方式により広く事業者を募り、「株式会社ぎょうせい」を選定したところです。

9月3日(火)	プロポーザル実施要領等の公表（市ホームページ掲載、公告）
9月18日(水)	参加申込書及び企画提案書等提出期限
9月20日(金)	プレゼンテーション
9月25日(水)	審査結果通知
10月4日(金)	契約締結（予定）

2 今後の予定

H25.10			H25.11			H25.12			H26.1			H26.2			H26.3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
第2回子ども・子育て会議 調査票（案）の検討			◎ 調査票確定 会議委員への調査票（案）提示、意見聴取			集計 配付・回収			◎ 会議へ集計結果報告 第3回子ども・子育て会議			「量の見込み」検討 ◎ 会議へ「量の見込み」（案）提示、意見聴取 第4回子ども・子育て会議			◎ 「量の見込み」確定 「量の見込み」調整		

3 委員の方々からいただいた御意見

先日、委員の皆様にご意見シートを御提出いただきました結果は以下のとおりです。

(1) 郡山市で追加すべきと思われる質問事項

調査票箇所	内容
問9	親族の居住場所（市内、県内、県外）について (鈴木(三)委員)
問15-4	定期的な教育・保育事業の利用状況について、「現在利用している事業について希望通りに利用できたか」 (安田委員)
問23項目4	24時間保育とは異なるのか、違いがわかるように記述 (鈴木(三)委員)
全般	必要とするニーズについて、具体的に記入する箇所 (峯委員)
追加	原発事故に伴う放射線に関する問題について (丹藤委員)
追加	自分の子育ての理想として「子どもをどのように育てたいのか」について (平栗委員)
追加	小学校入学前の教育を受けさせたいか、受ける必要性について (平栗委員)
追加	家庭的保育の必要性について (平栗委員)

(2) 郡山市では調査する必要のないと思われる項目

ありませんでした。

(3) その他

調査票箇所	内容
1 ページ	「回答に当たってお読みください」を分かりやすく調査の趣旨を伝えられる文章の作成 (太神委員) (滝田 (良) 委員) (安田委員)
問 15-1 問 1 6	事業内容を郡山市の実態に変更 (安田委員)
全般	文章の書き方や質問項目を整理し、簡単で読みやすい調査票への工夫 (滝田 (良) 委員) (丹藤委員) (峯委員)
全般	国が示した基本指針 (案) を踏まえたニーズ調査の実施 (平栗委員)
全般	該当する子どもが複数いる場合であっても、1 冊回答すれば済む工夫 (安田委員)

(4) ニーズ調査以外の御意見

内容
保護者と子ども達を一緒に支援する事業の構築 (瀧田 (勉) 委員)
周産期医療の充実 (鈴木 (ミ) 委員)
児童発達支援事業を利用する子どもの割合、幼稚園・保育所と併用する児童が増えてきているので、実態の正確な把握 (安田委員)